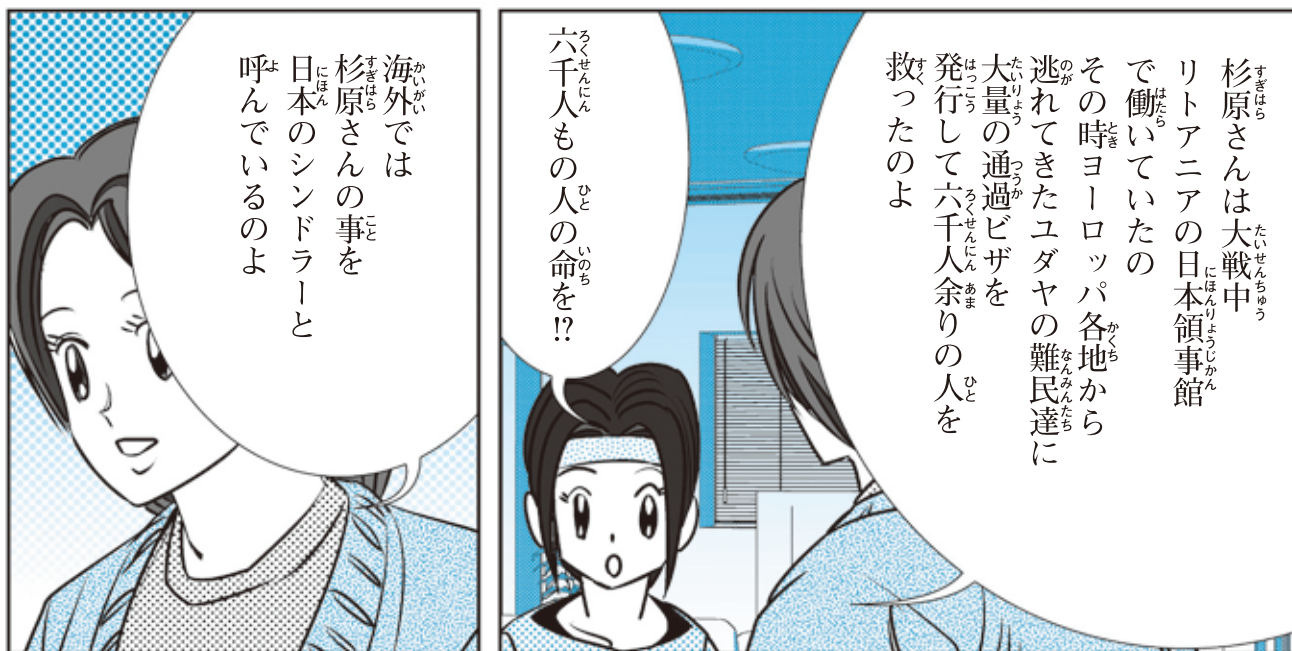
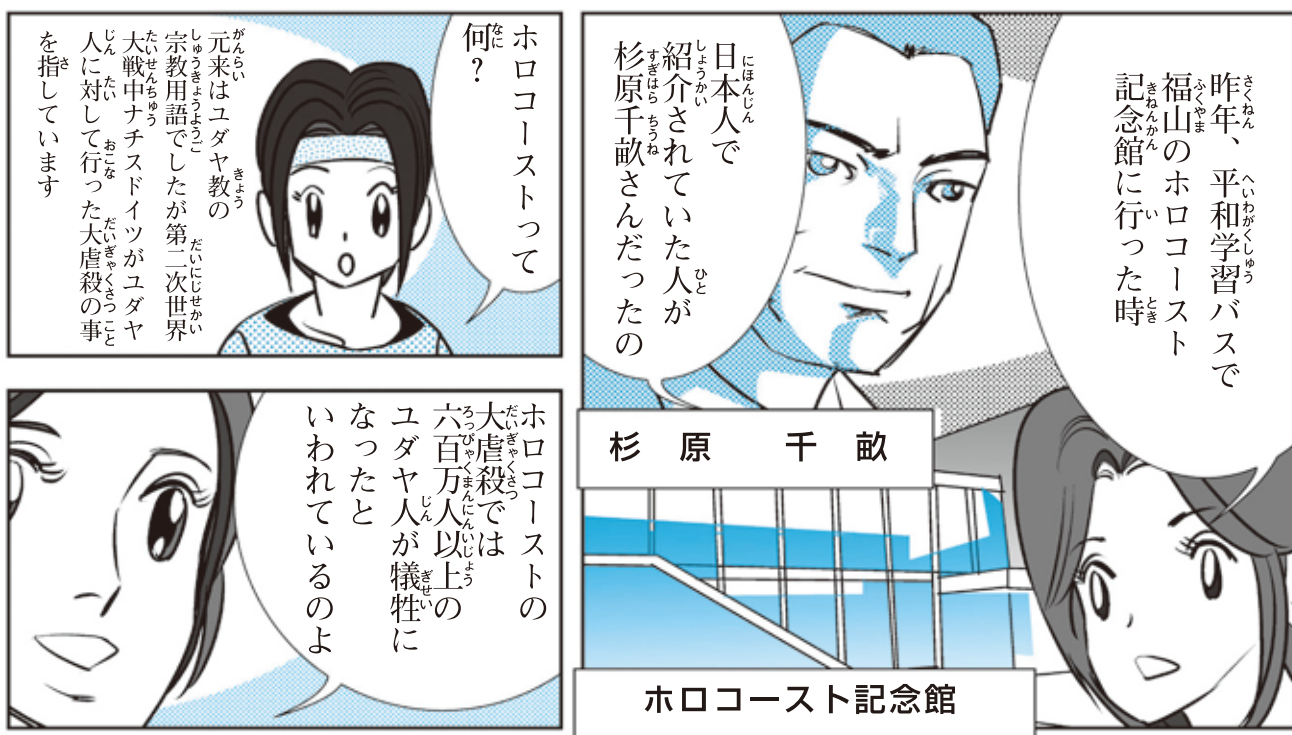
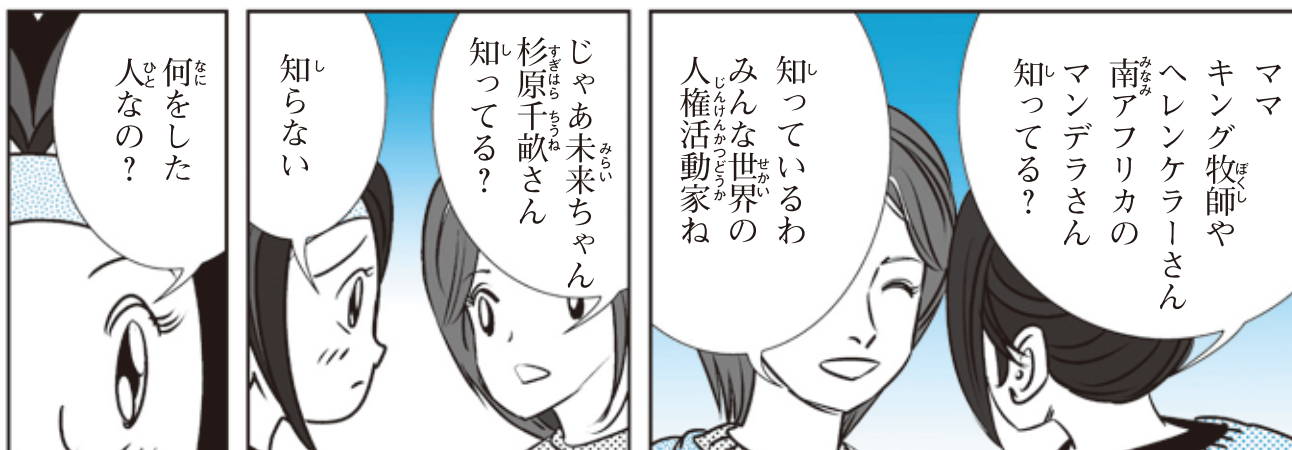




人権まんが 解説

あなたは、ミスター・スギハラを知っていますか。杉原千畝は、第二次世界大戦で多くのユダヤ人を助け、「日本のシンドラ

ー」とも呼ばれる外交官です。

1940年7月、第二次世界大戦のさなかのことです。リトアニアの日本領事館の前に多くの人が群がっていました。それはナチスの迫害から逃れるため、日本の通過ビザを求めて集まってきた、ユダヤ人の人々でした。杉原は、日本政府にビザを発給する許可を得るため、電報を打ちました。

しかし、杉原の思いに反して、日本政府の回答は「ビザを出してはいけない」というものでした。日本とドイツはこのとき同盟関係を結んで

いたので、ユダヤ人を助けるとドイツに対しての裏切り行為になるからです。

しかし杉原は、多くのユダヤ人を目の前にして、独断でビザを発給する決断をくしました。彼は条件をつけず、すべてのユダヤ人に日本通過ビザを発給し、彼らに励ましの言葉をかけていったのです。

一度に大量のビザを手書きした杉原の腕は腫れあがり、万年筆は折れました。しかし杉原は、「命のビザ」を寝る間も惜しんで書き続け、リトアニアから旅立つ車窓からもビザを最後まで渡し続けました。

この勇気ある決断によって、死に直面していた約6千人もの尊い命を、ナチス・ドイツの迫害から救いました。

※オスカー・シンドラール ドイツ人の実業家。第二次世界大戦中、ナチス・ドイツにより強制収容所に収容されていたユダヤ人のうち、自身の工場で雇用していた約千二百人を虐殺から救った。

人権に配慮したインターネットの活用を心がけましょう

インターネットの急速な普及は、利用者に大きな利便性をもたらす一方で、その匿名性を悪用してホームページの掲示板などに基本的な人権を侵害する書き込みが増加するなど、差別を助長し重大な人権侵害を引き起こしています。

インターネットは、本来、人々とのコミュニケーションをより円滑にするという素晴らしい側面を持っています。インターネットを楽しく安全に利用するためには普段の生活と同様、ルールやマナーを正しく守ることが大切です。

インターネット上の差別書き込みや差別文書、差別発言などを絶対に許さない人権尊重の社会を実現しましょう。



吉田文化会館で 証明書などがとれます

吉田文化会館に、次の証明書などの交付を受けることができる「市民サービスコーナー」を設置しています。

交付できる証明書

○住民票の写し

○印鑑登録証明書

○所得証明書

○固定資産評価証明書

○軽自動車税納税証明書

※印鑑登録証明書の請求には、「かさおかカード」が必要です。

※証明書などの交付請求の際に、本人確認をします。

利用時間：8時30分～17時
※土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く。



よしだ文化会館だより ④